

最新技術動向の概説とその情報源【オンラインライブ】 (4124286)

イノベーションを通じた最新技術の適応が、企業の競争力や差別化のために重要な要素となるケースが多くなってきました。技術の進歩と、多様性の速度は、年々増していく一方です。こうした状況において、トレンドになっている技術概念を素早く理解いただけるよう、最新技術・技術動向を俯瞰して概説します。また、技術動向の調査方法について、講師の経験を基にお話しします。

開催日時	2025年3月17日(月) 9:00-16:00ライブ配信
カテゴリー	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価 専門スキル
講師	館田潤 氏 (キンドリルジャパン株式会社 アドバイザリー・アーキテクト) 2003年日本IBM入社。関西の中堅企業のお客様担当SEを歴任 2012年人材交流の一環でJR九州に出向。鉄道安全推進・サービス企画に従事 2013年の帰任後、OSSやコンテナ技術に関心を持ち、同分野のシステム設計・構築を担当 2021年 日本IBMの分社に伴いキンドリルジャパン株式会社へ
参加費	J U A S 会員/ITC : 35,200円 一般 : 45,100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信 (指定会場はありません)
対象	企業内で情報システムを企画・開発・運用保守をされる方 中級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

ライブ配信 (Zoom ミーティング) [【セミナーのオンライン受講について】](#)

■テキスト

開催7日前を目途に発送 (お申込時に送付先の入力をお願いします)

※開催7日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

■開催日までの課題事項

特になし

企業活動において、ITの重要性は年々増えています。イノベーションを通じた最新技術の適応が、企業の競争力や差別化のために重要な要素となるケースが多くなってきました。

技術の進歩と、多様性の速度は、年々増していく一方です。

しかし、企業内の情報システム部門では、日々の業務に追われ、最新技術を導入、検証する余裕がとれないのが実情です。

本講座ではこうした状況において、企業の情報システム部門の担当者向けに、トレンドになっている技術概念を素早く理解いただけるよう、最新技術・技術動向を俯瞰して概説いたします。

また、そうした技術動向の調査方法について、講師の経験を基にお話しいたします。

<内容>

1. DXと情報システム部門の役割

2. 技術動向概説

- ・オープン・ソース・ソフトウェア
- ・クラウド/クラウド・ネイティブ
- ・エッジ・コンピューティング
- ・ブロックチェーン
- ・人工知能
- ・DevOps

- ・その他最新の話題

3. 最新技術動向の調査方法～講師の経験を基に～

■参加者の声

- ・幅広く最新の技術動向が知れて有意義なセミナーだった。
- ・先端技術の導入として受講して良かった。
- ・最新技術動向を学びつつも、「そもそも」の初歩的な知識についても一緒に学び得ることができ、大変参考になった。